



地域とともに 更なる発展へ

会長 名 淵 薫
(三高24回卒)

ロシアのウクライナ侵攻、台湾情勢、物価高、オミクロン株の蔓延等々で、社会経済情勢は先行きも不透明感を拭えない状況が続いています。

会員の皆様には日頃より同窓会活動に、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて東讃地区の少子化による生徒数の減少に伴い、東讃4校の統廃合が検討され、母校は伝統を生かし、地域のニーズに応えるよう、単独で存続することとなりましたが、さぬき市の志度、津田、石田の3校を統合した新設校が、造田地区に2028年4月開校する予定となりました。新設校は、普通、農、工、商、家庭の5学科、8クラス規模で、学校と地域が一体となったコンソーシアムを設け、地域活性化の核となる学校を目指す、との方針が県教育委員会から発表がありました。

今後、更なる生徒数の減少が予測され、母校も生徒数を確保するため、文武両面において、レベルアップが必要になると考えられ、学校もいろいろな対策を行っていただいております。その中で、「食堂から地域を元気に」とのスローガンの下、「三高みんなの食堂プロジェクト」が2020年9月から実施され、本年8月に「高校生ボランティア・アワード2022全国大会：東京都」において、同プロジェクトが会長賞の「さだまさし賞」を受賞しました。大変喜ばしいことで、これを機にもっと地域とのコンソーシアムを通じた絆が更に深くなることを期待しております。

また、地域とともにある三本松高校を広く支援していただくという目的で、本年から卒業生はもとより、卒業生以外の個人、企業、団体等により一層支えて頂くために、「香川県立三本松高等学校教育後援基金」を創設し、各種事業等も順調に推移しています。

今後も統合高校の新設をはじめ、母校を取り巻く環境も大きく変化していくことが予測されますので、会員の皆様にはより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。



新しい時代を 担う人が育つ三高

校長 泉 谷 俊 郎

大中三高会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して心のこもった応援とご支援をいただきありがとうございます。あらためて深く感謝申し上げます。

本校は、輝かしい歴史と伝統を礎に、また、地域からの愛情と期待を受けて新たな時代に活躍する人を育てていく学校としてさらなる歩みを始めているところです。

高校生のときも社会に出てからも心から三高で学べてよかったと思えるよう、三高ならではの教育に取り組んでいます。従来からの良さを継承しつつその上に、生徒の主体性を高め、社会で活かせる多くの力を身につけるための新たな教育活動を行っており、多くの方のご支援をいただきながら次第に目に見える成果となってきています。

「虎丸ゼミ」「三高みんなの食堂プロジェクト」などを中心に生徒たちは主体的に活動して学びを深めています。これらの活動は、三高だからこそできる教育のひとつとして、多様な力を伸ばす充実した教育へとつながっています。今後は、さらに生徒たちが積極的に地域と係わりながらその良さを実感し、社会人としての自覚と誇りをもつことをめざしています。そして、多様な力を身につけてどのような状況でも力を発揮できる新たな時代を担う人として育つための教育活動を進めていきます。

地域の生徒数が減少している状況ですが、中学生にとっても魅力ある高校となるよう教育の質を高めており、昨年度より、全国からの生徒募集も実施しています。他の地域からの生徒が新たな視点や文化を持ち込んでくれることにも期待していますので、同窓会の皆様にも募集活動等にご協力いただけましたら幸いです。

また、教育後援基金（後述）として生徒が体験活動を中心に多様な経験を積むための教育活動へのご支援もお願いしているところです。学校だけでは難しいところでも同窓会の皆様をはじめ地域の多くの方のご支援によってより良い教育環境が整います。

今後ともご理解とご協力をいただけますようよろしくお願い申し上げます。